

ふるさと探訪

第35回 高知八幡神社



高知八幡神社は、古くは井河八幡と称されていました。康平6(1063)年源頼義が伊予守となり河内八幡と称し、寛永年間に現社号に改められました。代々の藩主の崇敬も厚く、祈雨祈晴五穀成就の祈願も度々あったようです。



地区内を回る獅子舞 (上)
 蛭が乱舞する水路 (下) ▲
 神社境内に咲いた見事なつつじ群 ▲
 つつじが岡の
 高知八幡神社の社殿 ▶

高知八幡神社には、高く長い石段があり、上り詰めると拝殿の正面に出ます。拝殿の南東の隅から拝殿裏の参道には、神社の歴史を物語る市指定の天然記念物である「ツツジ群」があります。高知八幡神社のあるこの丘は、古くより「つつじが岡」と呼ばれていました。古記によると廻り60ヶ所、高さが7ヶ所ありと記されており、昭和初期の調査でも最高根回り約50ヶ所、樹

高約5ヶ所に達するものがあつたと記録されています。このつつじ群は昭和62年10月1日に旧丹原町で文化財の指定を受けたものです。
 春には見事なつつじの大本木に綺麗な花が咲き誇り、夏には蛭が飛び交い、秋には獅子舞が地区内を巡る高知八幡神社の一带は、のどかな田園風景が一望できる閑静な地域です。

■住所 丹原町高知甲729
 ■駐車場 あり(無料)



▼人口のうごき

人口 115,458人 (-51人)
 男 55,303人 (-24人)
 女 60,155人 (-27人)
 世帯 46,991世帯 (+7世帯)

平成20年2月末日現在
 住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより 0897-53-1500 (常時)
- 当番病医院 0897-58-2200 (常時)
- 災害情報 0897-55-5551 (発生時)
- 民話テレホン 0897-52-1270 (常時)

▼編集後記

先日、高等学校の卒業式に出席しました。PTA活動をやりながら日頃見ていた学生たちが、普段とは違うきりりと引き締まった顔で式典に出席している姿は、保護者の一人として頼もしく、3年間でものすごく成長することを実感しました。

涙を流しながら式典会場から出て行く学生たちを見てみると、3年間の高校生活にかけてきた思いが伝わってきて、心に熱いものが込み上げてきました。

高校を卒業してはや20数年。あの頃のエネルギーは、今どこに? 体力的には急降下中。ウエストは急上昇中ですが、せめて心にはもう一度、熱い思いをたぎらせてみたいものです。(あ)

西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No.32 ヤツガシラ(旅鳥)

数少ない旅鳥として農耕地や芝生広場に飛来し、昆虫やミミズを食べています。警戒するとヤツデの葉のように冠羽を開く姿に、江戸時代から「ハツ頭」と呼ばれています。

西条では数例の観察記録しかない珍鳥で、花見の季節に黒瀬ダム公園の芝生広場で撮影することができました。



撮影：十亀茂樹